



文部科学省
小学校学習指導要領

児童の実態
○相手を意識したあいさつが交わされ、元気に学校生活を送る。
○目標に向かって協力して取り組み、仲間の良いところに気付く。
○上級生は手本となる姿を示し、異年齢集団で仲良く活動する。

教育目標：**学びあい 助けあい とともに高く**
●学びあい 問題意識に支えられた学びの連続
●助けあい 相手意識をもった自己決定、他者への貢献
●ともに高く 自他の変容を自覚して、新たな動きを創造

柏崎市 学校教育実践上の努力点
◎学力向上を目指した授業づくりを推進し、どの子どもも夢と希望をもてる学校に
●学力向上の推進（学力向上プロジェクト）
●生徒指導の充実
●全職員で取り組む特別支援教育
●人権教育、同和教育の充実
●道徳教育の充実 ●特別活動の充実
●外国語教育の充実
●健やかな体の育成 ●情報教育の推進

瑞穂中学校区小・中学校連絡協議会
榎原小学校・日吉小学校・中通小学校・瑞穂中学校
◎期待する：心豊かで、自ら学び続け、故郷子ども像を愛する子ども
●意欲をもち、主体的に学ぶ子ども
●自他を尊重する子ども
●望ましい生活習慣を身に付けた子ども

重点目標：**自分で決めて 仲間とともに 高め合う子**
●自分で決めて 目標や方法を決めて、努力を積み重ねる子
●仲間とともに 相手のことを考え、仲間と協働する子
●高め合う子 自分の成長に向けて努力するとともに、他者の成長のために貢献する子

児童に育てたい資質・能力：学習指導要領で求められる資質・能力を、教育活動全体で育成
①実際の社会や生活で生きて働く知識・技能 ②未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力
③学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等

①ゆとりと充実の教育課程と新型コロナウイルス感染防止対応 実践事項①～② ◆学校評価項目3点
①子どもの多様な教育活動を支える午前5時間制を継続する。→ 創意工夫を凝らした教育課程の実施により、効果的な教育活動を推進するとともに、働き方改革の視点から、教職員が子どもと向き合う時間を確保する。→ 課外活動のマーチングは、令和4年11月より、保護者が指導者となり、保護者ボランティアも協力して活動している。
②子どもの健康を第一として、新型コロナウイルス・インフルエンザ感染防止対応を継続する。
◆児童：めあてやそれを達成する方法を自分で決めて、取り組みましたか。→ 90%以上（昨年度92%） ◆児童：仲間と力を合わせて活動しましたか。→ 90%以上（昨年度96%）
◆児童：仲間と競い合ったり協力したりして、「もっとよくなるう」「もっとよくしよう」としましたか。→ 90%以上（昨年度96%）

②共に考えを深め合う子どもの育成【学習面】
実践事項①～④ ◆学校評価項目5点
①「なぜ、どうして」「調べてみたい」など、子どもの問題意識や学習意欲を大切に授業、そして子どもが分かる授業を実践する。
②追究する学習や話し合う学習など、子どもが主体の多様な学びを進めながら、教師の問い返しや価値付けにより、主体的・対話的で深い学びのある授業を実践する。→ 職員研修での取組
③ICT機器（タブレット端末等）を活用するなど、一人一人子どもに応じた学びを深め、個別最適な学びのある授業を実践する。
④子どもが他者と力を合わせるリアルな学びに取り組み、協働的な学びのある授業を実践する。
◆児童：授業中、集中して聞いたり、進んで話したりしましたか。→ 80%以上（昨年度92%）
◆児童：問いや課題に対して自分の考えをもち、仲間の考えを聞きましたか。→ 80%以上（昨年度95%）
◆児童：ワークテストの正答率 → 80%以上（昨年度82%）
◆児童：自分で学習内容や学習時間を決めて、家庭学習に取り組みましたか。→ 80%以上（昨年度86%）
◆保護者：お子さんは、自分から家庭学習に取り組みましたか。→ 80%（昨年度69%）

③自他を尊重する子どもの育成【生活面】
実践事項①～⑥ ◆学校評価項目3点
①子どもが自己の取組を見つめ、改善に取り組む学級活動・児童会活動を実践する。→ 学級での振り返り、日吉っ子スピーチ、児童集会・生活集会、「みずほあいさつ強調週間」、いいとこめがねでの取組
②子どもがかかわる活動をとおして、達成感や自己有用感を育む学校行事を実践する。→ 運動会、6年修学旅行、5年自然教室、3・4年スケート教室、1・2年そり遠足、学習発表会、郡市親善音楽会、さくら会（児童会）祭りでの取組
③子どもが自主的に協力して取り組み、好ましい人間関係を築く特別活動を実践する。→ 全校異年齢集団〔ニコニコファミリー班〕活動（ニコニコタイム）、全校ふるさと八石山登山での取組
④自己を見つめ、仲間と学ぶ道徳授業、豊かな体験活動のある道徳教育を推進する。
⑤差別やいじめを見逃さない・許さない人権教育、同和教育を推進する。
⑥子ども一人一人の特性を理解し、良さを生かした特別支援教育を推進する。
◆児童：自分は頑張ったことや成長したと思うことができましたか。→ 90%以上（昨年度93%）
◆児童：相手が気持ちのよいあいさつを、進んでしましたか。→ 90%以上（昨年度87%）
◆児童：仲間のよさを認め、相手のことを考えて行動しましたか。→ 90%以上（昨年度94%）

④望ましい生活習慣を身に付けた子どもの育成【健康面】
実践事項①～② ◆学校評価項目5点
①家庭と連携して、子どもの生活習慣づくりを推進する。→ 「みずほ健康・家庭学習強調週間（睡眠時間・家庭学習時間）」、メディアコントロールでの取組
②子どもが健康に関心をもち、日常的に体を動かす習慣づくり・継続した運動による体力づくりを推進する。→ 校庭遊具の活用、郡市親善陸上大会、チャレンジ走記録会、なわとび大会での取組
◆児童：寝る時刻と起きる時刻を決めて、十分な睡眠時間をとりましたか。→ 80%以上（昨年度83%）
◆保護者：お子さんは、寝る時刻と起きる時刻を決めて、十分な睡眠時間をとりましたか。→ 80%以上（昨年度81%）
◆児童：メディア（テレビ・動画・SNS・ゲーム等）をやめる時刻を守りましたか。→ 70%以上（昨年度76%）
◆保護者：お子さんは、メディア（テレビ・動画・SNS・ゲーム等）をやめる時刻を守りましたか。→ 70%以上（昨年度52%）
◆児童：学校や家で、体力を向上させるために、体を動かしましたか。→ 80%以上（昨年度85%）

⑤地域に根ざした学校を目指す積極的な連携 実践事項①～④
①PTA・子供育成会・後援会等、保護者・地域の人々との連携・協力による地域に根ざした学校づくりを推進する。→ 学習公開、PTA活動、個別懇談、憩いの場としての教材園・校庭周辺整備での取組
②地域学校協働活動推進事業を活用して、地域ボランティアと連携した活動を実践する。 ③子どもの心身の健康のために、保護者とともにメディアとの接し方を考え、実践する場を設定する。→ PTA親子メディア講座、学校保健委員会での取組 ④瑞穂中学校区の小・中・中学校が連携して、子どもの健全育成を図る。

学校経営の基本：**子ども：楽しく・成長する 教職員：信頼・誠実・協働** ◆学校評価項目2点

◎目指す子どもの姿：楽しく・成長する
①子どもが楽しく通う学校 → 子どもが、安心して、安全に通うことができる学校
②子どもが伸び伸びと成長する学校 → 子どもが、様々な人・もの・ことにかかわり合って学ぶ、より良い学びの場のある学校
◆児童：学校が楽しいですか。→ 90%以上（昨年度96%） ◆児童：授業の内容が分かりますか。→ 90%以上（昨年度93%）
◎教職員の姿勢：信頼・誠実・協働
①信頼される日吉小 → 子ども、保護者や地域の人々の願いや期待に応える学校。保護者や地域の人々の思いや願いを受け止め、誠意ある対応を心掛ける。
②ともに歩む日吉小 → 学校と地域が双方向にかかわり、地域と協働して子どもを育成する学校。地域連携・体験活動を推進し、学校だより・学年だより・ホームページを活用する。
③創立149年目、歴史と伝統ある日吉小学校のこれまでの良き取組を踏まえ、学校（子ども・教職員）、家庭、地域それぞれの個性や特色を生かして、全教職員の力を結集し、信頼・誠実・協働を旨として、教育活動を展開する。→ 子どもの良いところ・頑張ったところを認め、ほめて、励ます。子どもの個性に応じ、一人一人に寄り添って、きめ細かく指導・支援する。

